

学校運営協議会委員の皆様を対象としたアンケートの集計結果について

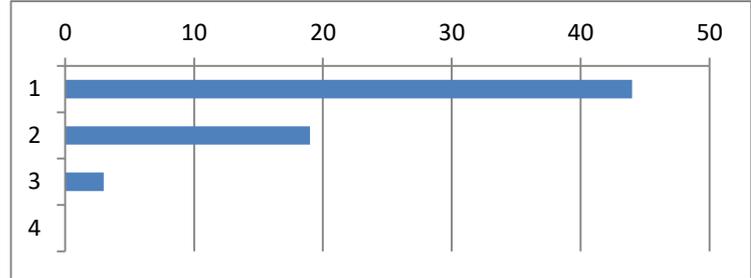
令和2年12月

1. 学校の教育活動についてお答えください。

(1) 学校は子どもを中心とした教育活動を行っていると思いますか。

* 単位は件数

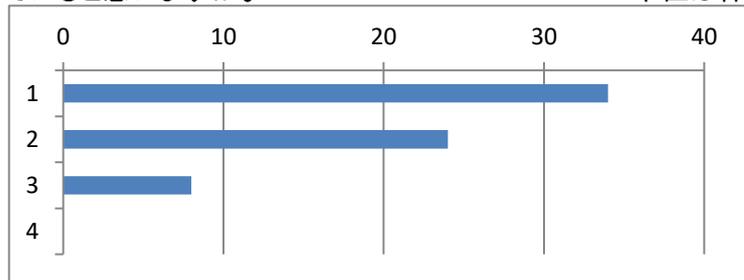
- ① 思う(44)
- ② どちらかといえば思う(19)
- ③ どちらかといえば思わない(3)
- ④ 思わない(0)



(2) 学校は地域住民と連携した教育活動を行っていると思いますか。

* 単位は件数

- ① 思う(34)
- ② どちらかといえば思う(24)
- ③ どちらかといえば思わない(8)
- ④ 思わない(0)

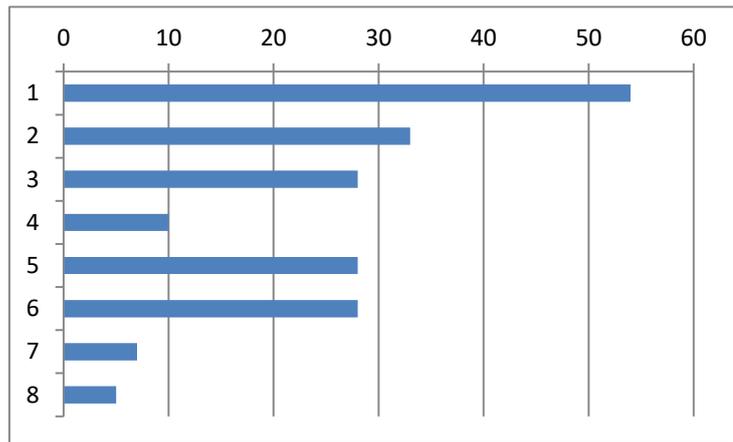


(3) 学校教育について、特に望むことは何ですか。

* 単位は件数

* 3つまで回答

- ① 学力向上の取組(54)
- ② 体力づくりの取組(33)
- ③ 人権教育の充実(28)
- ④ 防災教育の推進(10)
- ⑤ ICT機器を活用した教育の推進(28)
- ⑥ 地域と連携した教育の推進(28)
- ⑦ 保護者への情報提供(7)
- ⑧ その他(5)



◆ その他の内容について

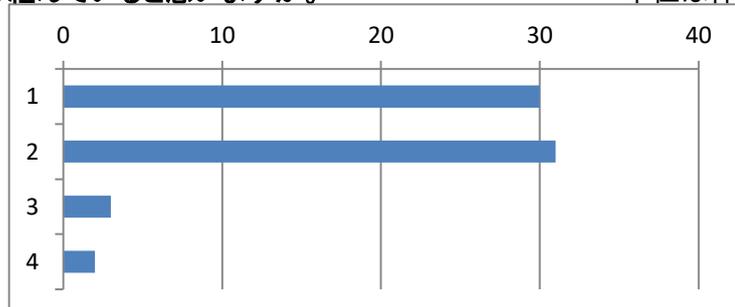
- 道徳
- 人間関係
- 基本的な人格の形成
- 宿題が多くて大変そうです
- 人権をベースにした実態に即した性教育
- 社会に出て役に立つ知識や行動ができるための教育

2. いじめの問題についてお答えください。

(1) 学校はいじめの問題について、前向きに取り組んでいると思いますか。

* 単位は件数

- ① 思う(30)
- ② どちらかといえば思う(31)
- ③ どちらかといえば思わない(3)
- ④ 思わない(2)



(2)いじめの問題について、学校や教育委員会がどのような取組を行っていけばよいか、ご意見をお聞かせください。

①学校 <※ 注:学校名、個人名が特定される表現は修正しています。>

- 信頼関係
- 保護者との情報共有
- 仲間意識を作る活動
- いじめに対する教育
- 職員間の情報の共有
- アンケートによる聞き取り
- 児童の常日頃の行動確認
- 子どもとよく会話し観察する。
- 今までの通りでいいと思います。
- 保護者との密な連携を取ること
- 先生、子どもたちの話し合いを
- 難しい問題です。特にありません。
- より人権意識を高めるための研修を
- 保護者との意見交換の時間をつくる。
- 子どもの小さなサイン見のがさないこと
- 教員のいじめの認知力を高める取組が必要
- 生徒の話をよく聞いて対応してあげて欲しい
- どんな人がいてもよい 多様性などの人権教育
- 生徒たちの普段の行動確認、保護者との情報共有
- 子どもたちが安心して相談できる雰囲気づくり
- いじめ被害生徒が訴えられる先生との関係づくり
- 事案を早く把握し、教育委員会と連携した対応を
- いじめはあるんだと認識し、学校全体での取組を
- 絶対いじめは悪であるこのことを心の中に刻み込め。
- 個別懇談などで丁寧に生徒との話し合いの時間を持つ
- いじめがあった時は、保護者に情報を提供してほしい
- 定期的なアンケートなどでいじめの有無の確認などを行う。
- 事が起きたら隠さないこと。徹底して被害者の側に立つこと
- 山間部では児童数が少数ですので、このままでいいと思います。
- 生徒一人一人の性格を分かり何事にも真正面からの教育を望む。
- 生徒との話し合い。変化があった場合、すぐに対応で事情を聞く

- 学校生活において子どもたちへの目配りし早期に発見し話し合う。
- 子どもたちが先生に対して何でも話せるクラスづくりを希望します。
- 子どもたちだけでなく保護者、地域の人たちにも人権教育を充実していただきたい。
- いじめが行われていないか、早期発見できるように常に子どもの状況を把握しておく。
- 小さいいじめでも一つの事柄として学校全体で取り上げる。自分一人では取り扱わない。
- 子どもの表情や態度、雰囲気などを見逃さないコミュニケーションを図ってください。
- 児童一人一人に誠実に向き合い、心を開いてつきあえる環境づくりに努めていただきたい。
- 子どもたちの毎日の様子から変化や異変がないか気にかけて頂きたいです。(気持ちの面で)
- 子どもたちの意見を聞きながら、保護者も参加し、学校だけで解決しないようにしてほしい。
- 「いじめ」に関する児童生徒への定期的な聞き取り等、きめ細やかな情報把握及び迅速な対応
- 担任の先生が時間を取って、一人一人個別に悩み事を聞いてやる中でいじめの存在を確かめる。
- 早期発見が一番大事。職員会議で常に議題で上げ、小さな情報でも全員が共有して臨んでください。
- 一人一人の生徒(児童)がお互いを認め合う生活環境を日常的に醸成していただきたい。地域とともに
- 卒業後に聞きます。なくなっていないようです。先生方への不満もあるようです。気を抜かないよう。
- いじめはあるし、なくならなくてよいので、いじめがあったとしても、その人の人権が守られるよう配慮頂きたい。
- 保護者とのコミュニケーションをなるべく取ることにより、子どもの様子を知ることができるのではないのでしょうか。
- どういういじめを行っているか名前を伏せて細かく全保護者に通知して実態を知らせて学校の現状を報告した方がよい。
- いじめはどの子どもにもどんな場所でも起こりうるという認識で生活態度を注視して早期に感知して対応する必要がある。
- いじめかと思われる兆候が少しでもあれば、できるだけ早期の対応が必要と思われるが、現場教員の対応が適正であってほしい。
- 授業を充実させ、理解が遅れている子どもに対して教師も子どもたちもケアしていける学級づくりが一番大事ではないかと思います。
- 好ましい人間関係が築かれるように、お互いの良さを認め合ったり、まちがいや失敗が許される学校の雰囲気づくりをお願いします。
- 子どもの日常の様子を見ていて、いじめにあっていないか、いじめをしていないか、子どもの変化に気をつけてあげて欲しいと思います。
- いじめは見えにくいもの。日々の子どもの変化や行動を観察 クラスを越えて全校で取り組んでほしい。(学級王国にならないように)
- 子どもとの信頼関係を築いてもらえるような取組、何があっても子どもたちが先生に相談できるようにして頂いてもらえたらよいと思います。
- 担任の先生だけに任せるのではなく、第三者の目でも客観的に見ること、いじめられたと感じている児童の気持ちを優先して対応してほしい。
- 普通にいじめはある。特別なものではない。早く見つけ、どう対処するか、教員でいるということはずっと頭の中にそのことを置いておくということ。
- いじめに対する学校の取組について、子どもが一年生の時、本人からいろいろ聞いていました。日常の小さな出来事を見逃すことなく必要であれば学年集会や学校集会で生徒に問い考えさせる学校の姿勢は心強く感じました。今後もぜひ継続していただきたいと思います。

②教育委員会

<※ 注:学校名、個人名が特定される表現は修正しています。>

- 学校との連携
- 人権教育の推進
- 事案の対応を早くする
- 調査・アンケートの実施
- 遅延のない情報開示の徹底
- 学校同士で情報共有を行う
- 学校との密な連携を取ること
- 先生、子どもたちの話し合いを
- 学校・保護者との意見交換を行う。
- すべての事案に対する迅速な対応
- 難しい問題です。特にありません。
- 職場がいじめを報告しやすい関係を
- PC,スマホの取り扱いについて考える。
- 学校との連携を密にし、より良いサポート
- 定期的に話し合う時間を作り、会議を行う
- どんな人がいてもよい 多様性などの人権教育
- 学校だけにしない。第三者として対応してほしい。
- 保護者も含めた取組があるのではと考えています。
- 定期的に各小学校を訪問して確認をしてほしいです。
- 学校と連携し、連絡を取り合うことがいいと思います。
- 学校からいじめの情報があれば迅速に対応してほしい。
- 学校や家庭への支援(スクールカウンセラー・相談員 等)
- 事が起きたら隠さないこと。徹底して被害者の側に立つこと
- 学校側の悩み事を聞き入れ一つでも解決できることを望む
- いじめ事案が発生した時の指導力発揮と敏速な対応(後手に回らない)
- 学校との連携を取り、現場の状況を把握することが大事だと思います。
- 学校でも言えない子どもが相談できる窓口(ホームページなど)を作る。
- いじめの早期発見、早期対応が重要で具体的事例認知の在り方を示すべき
- 子どものいじめについて学校と教育委員会で一緒になくなるよう考えてください。
- 先生たちが取り組もうとしていることへのバックアップをしてもらえればよいと思います。
- 学校⇄教育委員会との情報共有の構築、学校と同様に、きめ細やかな情報把握及び迅速な対応

- 各学校における小さな事柄(いじめの)でも一職員で取り扱いせず全体で取り組んでください。
- いじめの記憶は絶対に消すことができません。子どもたちの言動にもっと敏感になってほしいです。
- 極力学校に任せ、過度な口出しはしないようにお願いします。ただし、バックアップをお願いします。
- 日々、子どもたちと直結している学校の先生のリアルの声を聞き、様々なことに取り組んでいただきたいです。
- 子どもの気持ちを分かってあげられる先生の育成と先生自身が気持ちに余裕ができる勤務体制を希望します。
- 保護者だから見つけられるいじめもあるように思うので、最後になりますが、楽しく学校に通学することを望みます。
- いじめ問題は子どもたちの間でおこるものであるが、原因はそれぞれの家庭での生活が重大な役割を担っている気がする。
- いじめが発覚した後、いわばその学校の外部の人間として、いじめに遭っている子どもから話を聞いてやるのも一案かも。
- 包み隠さず、いじめがあった場合、生徒のメンタルを重点的に考えてケアするということだと思う。うやむやにしないこと。
- より多くの大人がいじめ防止基本方針に掲げる事項を理解し、親身になって子どもと関わられるよう啓発、宜しく願います。
- 正しい教育はしなくていいので、あるがままwell hearingしていただきたい。いじめをなくす教育をすとかくれていじめが進行します。
- 今年のように感染症が流行すれば、リモートでの授業も現実となる。その場合、各家庭のネット環境の差が教育の機会の公平性に懸念
- 教職員(中堅・管理職)には、人権教育をより強く何度でも実施してほしい。(近年、子どもたちや同僚に対するパワハラやセクハラが増加している)
- 学校現場の声に真摯に耳を傾け、先生方と連携を密にし、いじめ問題に取り組んでいただきたい。先生方の適材適所の配置、ご指導にもご尽力ください。
- 先生や親の言う言葉より部外の方の言葉の方がすんなり受け入れられやすい年ごろなのかなと思います。先日行われた人権講演会のような催しを継続していただきたいと思います
- 教師が子どもたちに寄り添う時間の確保を保障すること。そのためには無駄な雑務を教師に押し付けない工夫を常に考えられること。また、雑務排除の立場に行政は断ち切ることが大切だと思います。
- 世間ではいじめがあると、担任や校長の責任になり問題がすり替えられている。悪いのはいじめている本人であることを前提に先生方できちんと問題を解決できるようにサポートしてあげてください。
- いつもいつも同じようなアンケートばかりで…何を考えて見えるのか…???と思います。このようなアンケートに頼らずもっともっと教育委員会のリーダーシップを思わせるものを期待します。失望を禁じえません。
- 全体を通して見て、いじめを教師は真剣に取り組んでいると思うが、保護者は自分の子どもしか見えていないことが多い。そこが誤解を生んだりすることになるが、自分の子ども幸せを願う親の気持ちを思って教師は話を聞いてほしい。地域のカも借りたらどうでしょう。